

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 74

2014年2月18日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大イノベーション社会連携推進機構より、お知らせやイベント情報をお届けします。<http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>からもご覧頂けます。

★今月の「みんなのコラム」は、橋口原先生です。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 静岡大学 地域連携セミナー
「希望の岡 静岡でこれからの『ひと・まちづくり』を考える」ご案内
2. 静岡大学 公開講演会
「実行性と実効性のある職場のメンタルヘルス対策」ご案内
3. 平成25年度「静岡おみやプロジェクト成果発表会」ご案内
4. 静岡大学 第23回情報学研究交流会
「地域と密着した認知症ケア」ご案内
5. 平成25年度「産学共同研究成果発表会」ご案内
6. 静岡県創業者育成施設の入居者募集のご案内

※問合せ先アドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更して
ます。メール送信の際は[at]を@に変更してください。

-
1. 静岡大学 地域連携セミナー
「希望の岡 静岡でこれからの『ひと・まちづくり』を考える」ご案内

この度、静岡大学人文社会科学部による地域連携セミナーを開催します。
本セミナーでは、同学部が社会貢献・地域連携として進めております取組みの
紹介と静岡でのひとづくり・まちづくりが今後どうあるべきかを皆様と一緒に
考えていきたいと思っています。

講演会後にはお茶とお茶菓子を用意して、教職員と交流する機会を設けており
ます。

どうぞお気軽にご参加ください。

日時 2014年2月27日(木) 13:00~17:30
会場 B-nest 静岡市産学交流センター6階 プレゼンテーションルーム
(静岡市葵区御幸町3-21 ペガサート内)

内容

※ 講演の順番は予告なく変更する場合がございます。

- 講演「江戸城築城にかかわる伊豆石丁場遺跡および文献資料の調査」
静岡大学 人文社会科学部 社会学科 篠原和大 教授
今村直樹 准教授
- 講演「社会調査による社会貢献」
静岡大学 人文社会科学部 社会学科 平岡義和 教授
吉田 崇 准教授
- 講演「ひきこもり当事者・家族を支える地域ケア・サポートシステムの構築」
— 領域横断的な専門職連携に注目して —
静岡大学 人文社会科学部 社会学科 荻野達史 教授
江口昌克 教授
- 講演「地域におけるヒューマン・ケアの連携のために」
静岡大学 人文社会科学部 社会学科 松田 純 教授
NP0法人ヒューマン・ケア支援機構 上藤美紀代 氏、勝山真弓 氏

●懇親会（同会場）

セミナー終了後、講演者との交流を深めていただけるようお茶とお茶菓子をご用意し、皆様のご参加をお待ちしております。

主催 国立大学法人静岡大学 イノベーション社会連携推進機構
後援 静岡市
協賛 国立大学法人静岡大学 人文社会科学部
参加費 無料（懇親会含む）
詳細/申込み http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/inno_event001481.html
参加申込書にご記入いただき、FAX、email、または必要事項を記入したハガキにてお申込み下さい。
申込〆切 2月25日（火）※ハガキは必着
問合せ先 静岡大学イノベーション社会連携推進機構 杉本
TEL 054-238-4630 FAX 054-238-3018
E-mail tane8p[at]cjr.shizuoka.ac.jp

2. 静岡大学 公開講演会

「実行性と実効性のある職場のメンタルヘルス対策」ご案内

この度、静岡大学人文社会学研究科臨床人間科学専攻の主催により公開講演会を開催します。

職場におけるこころの健康問題については近年関心が高まり、厚労省も多くのガイドラインを企業に向けて発信してきました。しかし、現実的でより実効性の高い取り組みとはどのようなものであるのか？多くの関係者が頭を悩ませています。

そこでこの度、企業での臨床経験も豊富で、職場復帰に高い成果を上げているKEAP (KEIO Employee Assistance Program) の中心的な役割を担われてきた白波瀬先生にご講演いただき、また参加者のみなさまのご質問にお答えいただく場を設けました。

是非、ご参加下さい。

日時 2014年3月5日（水） 19:00～21:00
会場 B-nest（ビネスト）静岡市産学交流センター6階
（静岡市葵区御幸町3-21 ペガサート内）
内容 講演 「実行性と実効性のある職場のメンタルヘルス対策」
講師 慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室
専任講師 白波瀬丈一郎 先生
事前申込 不要
参加費 無料
主催 静岡大学人文社会学研究科 臨床人間科学専攻
問合せ先 荻野 達史（臨床人間科学専攻） jtogino[at]ipc.shizuoka.ac.jp

3. 平成25年度「静岡おみやプロジェクト成果発表会」ご案内

～約10ヶ月をかけて生み出した6つの“きらめく結晶”
ついに一挙大発表！！～

静岡市を訪れる観光客やビジネスパーソンに喜んで買っていただける「地域資源を生かした、静岡市を代表するお土産の創造」を目指して、B-nestと市内の食品事業者6社が専門家と共に毎月勉強会形式でマーケティングから商品開発、販売までを実践する、約10ヶ月に及んだ大プロジェクトです。

成果発表会では、プロジェクトで生まれた静岡「おみや」を、各事業者自ら報告します。

また、会場にお越しいただいた皆様には、実際に商品を試食していただき、事業者との意見交換をしていただけます。

日時 2014年3月5日(水) 13:30~16:30

会場 B-nest7階大会議室/小会議室1・2

プログラム

【第1部】静岡おみやプロジェクト成果発表会 13:30~15:30

【第2部】静岡おみやプロジェクト開発商品試食会 15:30~16:30

※試食品には限りがございます。予めご了承ください。

<参加事業者と開発商品>

- ・株式会社白帆タンパク:「ぷるぷる富士山 美人豆腐」
- ・株式会社磯駒海苔:「天女もよろこぶ はごろもご飯」
- ・アオノフレッシュミート株式会社:「するが鯉節製法 ふんわり牛けずり」
- ・株式会社コーヒー乃川島:「しずおか昭和珈琲物語」
- ・株式会社小島康平商店:「駿府天領地巡り 家康公御用茶」
- ・ホテルクレスト清水:
「静岡が香る 3種類のイタ飯パウンド~フルコース仕立て~」

参加費 無料

申込/詳細 <http://www.b-nest.jp/omiya/default.html>

問合先 B-nest静岡市産学交流センター 担当:井石(いせき)

〒420-0857 静岡市葵区御幸町3-21ペガサート6階

TEL:054-275-1655 FAX:054-275-1656

4. 静岡大学 第23回情報学研究交流会

「地域と密着した認知症ケア」ご案内

日時 2014年3月8日(土) 13:00~15:30

会場 静岡大学浜松キャンパス 情報学部 情11教室

プログラム

13:00-13:30 上野 秀樹氏(海上寮療養所/千葉大学)

「認知症の人への精神科訪問診療」

13:30-14:30 加藤 忠相氏(株式会社あおいけあ)

「認知症の人も主役になる地域包括ケアのデザイン」

14:30-15:00 エーニンブインアウン、菊池拓也、鈴木夏也、古屋美季(静岡大学情報学部)

「学生による介護施設おたがいさん体験報告」

15:00-15:30 総合討論

講師紹介

◆加藤 忠相氏:

神奈川県藤沢市で高齢者福祉サービスを実施している。

お年寄りの管理・支配をする介護の現状に愕然とし、現在の株式会社あおいけあを開始する。お年寄りの力を使って地域へ拡げていくことをモットーに、2007年から小規模多機能型居宅介護「おたがいさん」を展開。

その取り組みは「第1回かながわ福祉サービス大賞」として認められ、地元を中心に同じ思想を持った仲間とともに取り組みが広がってきている。

◆上野 秀樹氏:

精神科医歴20年以上。東京都立松沢病院の認知症専門病棟を担当して以来、認知症医療に従事。2009年から、海上寮療養所で訪問医療(往診)に取り組み、診察し

た700

人以上の中で、実際に入院が必要だったのはごく少数ということが判明。

現在、内閣府障害者政策委員会委員を務める。

申込み 不要(直接、会場にお越しください)

参加費 無料

問合先 静岡大学情報学部 情報学研究推進室長 竹林洋一

TEL 053-478-1486

E-mail [takebay\[at\]inf.shizuoka.ac.jp](mailto:takebay[at]inf.shizuoka.ac.jp)

5. 平成25年度「産学共同研究成果発表会」ご案内
～地域の課題を解決する～

静岡市産学交流センターでは、地域や産業が抱える身近な課題を解決するために、中小企業者等と大学が共同で取り組む「地域課題に係る産学共同研究」を公募し、採択された6テーマの共同研究を平成25年7月より実施して参りました。

これらの取組内容を多くの方々に知っていただくこと、その成果をご活用していただきたくことを目的に、産学共同研究成果発表会と成果品の展示・交流会を開催いたします。

日時 2014年3月14日（金）13：30～18：00

会場 B-nest6階プレゼンテーションルーム

プログラム

【第1部】成果発表会 13：30～16：50

1. 「次代につなぐ伝統食品「糠漬」量販を可能とする鮮度保持技術」
フジヤ漬物食品(株)、沼津工業高等専門学校
2. 「グァー豆を応用した
メタボリック・生活習慣病対策食材とそのメニューの研究開発」
(株)ウエルビーフードシステム、(有)石井育種場、静岡県立大学
3. 「静岡茶を使用した
メラニン抑制効果のある化粧品原料と化粧品の研究開発」
(株)静岡茶園、静岡県立大学
4. 「静岡茶と柑橘の成分で
アルコール臭を抑えた新規ウェットシートの研究・開発」
(株)コーヨー化成、静岡県工業技術研究所、静岡大学
5. 「クールビズサンダル普及の課題抽出と
需要創造のための新たなマーケティング戦略」
静岡サンダル工業協同組合、静岡大学
6. 「三保の松原の松葉を有効利用した環境保全への取り組み」
NPO法人三保の松原・羽衣村、静岡大学

【第2部】展示・飲食・交流会 16：50～18：00

※各事業の進捗状況は、下記よりご覧いただけます。

http://www.b-nest.jp/itaku/h25_report.html

参加費 無料

申込/詳細 <http://www.b-nest.jp/itaku/default.html>

問合先 B-nest静岡市産学交流センター

〒420-0857 静岡市葵区御幸町3-21ペガサート6階

TEL：054-275-1655 FAX：054-275-1656

6. 静岡県創業者育成施設の入居者募集のご案内

<<http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-510e/index.html>>

平成26年5月1日以降に入居可能となる静岡県創業者育成施設の入居募集を行いますのでご案内します。

静岡県創業者育成施設（インキュベートセンター）は、今後創業しようとする方や創業間もない方を対象とする施設です。

事業活動に必要なスペースを貸し出すほか、公益財団法人静岡県産業振興財団や静岡県工業技術支援センターが、入居者のみなさんを総合的に支援します。

募集施設

- 静岡県 沼津インキュベートセンター
所在地：沼津市岡一色725-1
募集対象室：工場仕様室
室数：2
使用料：36,100円 / 月 (※)
- 静岡県 富士インキュベートセンター
所在地：富士市大淵2586-3
募集対象室：研究室仕様室
室数：1
使用料：25,800円 / 月 (※)
- 静岡県 浜松都田インキュベートセンター
所在地：浜松市北区新都田1-3-3-1
募集対象室：研究室仕様室
室数：1
使用料：24,700円 / 月 (※)

※使用料は4月1日以降の消費税率の引き上げに伴い改定される場合があります。

- 募集対象者 次のすべての条件を満たす個人又は法人
 (1) これから創業しようとする方、又は、創業して5年未満の方
 (2) 事業の種類が、製造業、印刷業、ソフトウェア業、
 情報処置サービス業、その他知事が認める業種の方
 (3) (2)の事業について、優れた技術開発力を持つと認められる方
- 募集期間 平成26年2月28日(金)～平成26年3月31日(月)
- 申請方法 以下の書類を下記申し込み先まで郵送又は持参により提出してください。
 ・使用承認申請書、事業計画書及び誓約書
 (所定の様式がありますので、下記HPからダウンロードしてください。)
- 入居審査の実施 事業内容等の審査を実施し、「使用承認資格者」となった場合、
 空室状況に応じて使用が承認されます。
 【事前ヒアリング】平成26年4月7日(月)～11日(金)までの間で
 応募する工業技術支援センターで実施
 【使用承認資格審査】平成26年4月24日(木)静岡県庁会議室で実施
- 入居期間 これから創業する方：平成26年5月1日から5年間以内
 創業して5年未満の方：創業日から5年以内
- 問合せ/申込先 静岡県経済産業部商工業局商工振興課創業支援班
 〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6
 TEL：054-221-2181 E-mail：ssr[at]pref.shizuoka.lg.jp

《 みんなのコラム -68- 》

記：大学院工学研究科機械工学専攻 教授 橋口 原

静岡大学に来て約6年半になります。その間何をしてきたか簡単に振り返ってみたいと思います。

最初は研究所に赴任したため学生もいなかったもので、今まで研究してきたMEMSの理論をまとめることにしました。数学的に、できるだけ丁寧に詳しく、MEMSの設計に必要な知識をまとめました。ちょうど当時NEDOのファインMEMSプロジェクトにおいて、等価回路ジェネレータというMEMS設計プラットフォーム開発のリーダーをしていたので、そこで考えた内容もまとめていきました。

そして、学会などでモデリングを中心に発表していったところ、企業から、どちらかといえば理論面でのサポートを依頼され、ノイズに関する出張講義や、

MEMS理論を詳しく教わりたいという企業の研究者への講義などを行うようになりました。

次に、同じくNEDOのBEANSと呼ばれるプロジェクトに参加し、従来、金属近似でしかモデリングされてこなかったMEMSデバイスに対して、半導体としての取り扱いを加えた理論をまとめました。このあたりは論文にもできなかったもので、ものづくりを主体にしていた研究スタイルから随分幅が広がってきたように感じます。

そうして理論を振り返っているうち、静電型MEMSに必要な機能に気づき、さらにそれを解決するアイデアが生まれました。それが、現在研究しているアルカリイオンエレクトレットです。これはシリコン酸化膜にアルカリイオンを混入させるもので、半導体集積回路製造の常識の逆をいくものです。研究開始当初に想定していなかった良い結果が出始め、学会発表しているうちに企業の研究者の目に留まり、現在、複数企業と共同研究を行っています。

最近是他大学の先生からの支援もあって、さらに大きなプロジェクトに持っていきたいという話もあり、産学官連携プロジェクトへ発展しそうです。

というわけで、これまで静岡大学では企業との共同研究を多数行ってきましたが、回転の速い時代だからでしょうか。とにかく早く製品に結び付けたいという企業の方の意思を強く感じます。我々大学の間もそれを自覚して、協力的に行っていくことが重要だと考えています。静岡大学の産学連携スタッフの方々にはNDA締結や特許申請などの支援をしていただき、今まで大変助かりました。これからも皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

<< 編集後記 >>

今月1日、文部科学省イノベーション対話促進プログラムによる「静岡大学第2回ワークショップ」を開催しました。

今回は、第1回の「こんなことができたならあんなことをしてみたい」をテーマとしたディスカッションで創出されたアイデアから、6テーマを選び「それってどういうこと」を深掘りしました。

第2回は、まさに『異』分野の融合によりイノベーションを創出するというこゝとで“まだない事業”への創発を目的として、本プログラムのコアプレイヤーを中心とした、浜松ホトニクス(株)、ヤマハ発動機(株)、(株)スプレーアートEXIN、大和ハウス工業(株)、静銀経営コンサルティング(株)、浜松信用金庫、浜松医科大学、静岡大学電子工学研究所・情報学部・教育学部の教員と学生の皆さまの参加を得て行いました。

当日は、前回参加した静岡大学教育学部附属浜松小・中学校の児童・生徒のうち15名が来て大人達のディスカッションを見学。テーブル上のホワイトボードシートや音声認識システムにも興味深々で、身を乗り出して熱心に見ていました。

このプログラムは、いよいよ最終段階“具体的な研究課題”の検討へと進み、今年度末には静岡大学等が採択されたCOI-S「時空を超えて光を自由に操り豊かな持続的実現する光創起イノベーション研究拠点」への提言に繋がります。

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・配信中止のご連絡は、[sangakukoho5\[at\]cjr.shizuoka.ac.jp](mailto:sangakukoho5[at]cjr.shizuoka.ac.jp) までお願いします。(↑送付の際は[at]を@に変更してください。)

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション社会連携推進機構

編集：原典子

発行責任者：木村雅和

Vol. 74_14. 2. 18

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1

TEL 053-478-1414

URL <http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>

* - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * -

Copyright(c) 2008-2014

Organization for Innovation and Social Collaboration,
Shizuoka University. All rights reserved